

# 自動車部



1949(昭和24年)・7 薪を燃やして燃料のCOガスを作りながら走る代燃車。カマのほかに薪の袋を積み、約1時間ごとに坂の上にとめて薪をカマに入れる。この時盛大に白煙上がり、始動にはクランクハンドル(今の車にはない)を何十回も回す体力がいる。



創立35周年記念



創立30周年記念



創立25周年記念



創立45周年記念



創立40周年記念



OB章



1952年  
本州一周走行記念



1932年  
慶応オートモビルクラブ  
(自動車部の前身)

各々の記念行事に限定作成配布されたカーバッヂ。



1938(昭和13年)・8 中支遠征。トラック陸送班、静岡病院玄関にて。日産が特別に準備した軍用型トラック2輛に14000点の慰問文、慰問品を積み、鈴木主将以下15名の塾生は2週間の行程で蘇州、南京、杭州へ慰問。



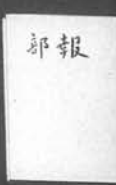
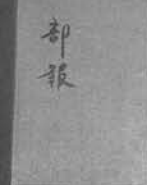
1958(昭和33年) 銀婚式を迎えられた寺尾部長ご夫妻。寺尾琢磨先生には部創立前よりご指導を賜った。1941～1969年まで部長を務められ、戦中戦後の激動の時代はもとより、その後々まで奥様のワリー夫人(部のママ)とご一緒にはかり知れないご尽力を賜った。



1948(昭和23年)・8 ニッサン戦時型トラック。山中合宿にて。ボディは木製、ワイパー手動。ヘッドライトは1つ。エンジンの性能は良く、断崖絶壁の雪の夜道も1つ目で突破。塾の運送車として活躍。部の財政を支えた再建の恩人。



題字「部報」は初代部長林毅陸先生にお書き頂いたもの。上段左より創刊号、第2号、創立20周年、同25周年、下段左より40周年、30周年、45周年、50周年、各々の記念誌として発行された。



1930(昭和5年)頃 初代部長、林毅陸先生。塾長退任後の林毅陸先生を初代部長として迎えられたのは、部員の一途な望みをくみっていただいた医学部藤浪剛一先生のお力添えの賜物。「興味は研究の母なり」の言葉通り、熱心にご指導下さった。

1944(昭和19年)・4 シボレーフェートン1932年型・コーライト代燃車。戦時中、走行練習という名目でカーキ色の教練服を身につけ走った。途中コーライトガスの調子を見ながら、日吉、多摩御陵間を往復。



1949(昭和24年)・12 戦後初の長距離ドライブ。薪を燃やし走る代燃車(日産フェートン)。後部座席に薪を満載し、部員はその上に座った。左フェンダーの上に薪の袋、右端にカマが見える。旧東海道、静岡県宇津谷峠付近。まだ未舗装である。



1953(昭和28年)・8 第1回慶早対抗日本一周レース、日比谷公園正門スタート地点にて。試合車、日産キャリアー53年型4W70型。早大東回り、慶大西回り。産経新聞7月31日版より8月13日版まで両校の試合状況の速報を掲載した。本塾優勝。

1953(昭和28年)・6・7 第2回全日本学生自動車連盟フィギュアレース。警視庁較洲試験場にて開催。14大学が出場し、大型貨物車部門で本塾優勝。写真は後退を終え、最後の屈折路に向かう本塾試合車、日産480型。



1956(昭和31年)・10 我が国初の女子によるレース。第1回慶青対抗エコノミックランが東京-静岡間で開催された。



1958(昭和33年)・8 第6回慶早対抗日本一周レース祝勝会。祝杯を手にお喜びの名執富三監督。氏は1952～1960年まで監督を勤められた。創立前から今日まで60年間、部の歴史を見守り続けられご指導を賜っている。



1958(昭和33年)・8 31年型フォードと女子部員。山中山荘前にて。よくぞ、この古い部車で山中湖まで無事到着できたものと感心する。いとおしさ一入である。



1958(昭和33年)・4・30 女子学生自動車連盟結成。初行事として名古屋トヨタ自動車工業工場で行ったホヤホヤの新車を降送。旧東海道経由で全車品川のトヨタ本社前にゴール。まだ薄暗い午前5時のスタート。



1952(昭和27年)・11 日産フェイトン、右端。三田図書館前に関東学生自動車連盟の他校の自動車と勢ぞろい。中央は法政大学、左端不明。フェイトンはガソリンから木炭に、その後木炭から薪に、そして更に薪からガソリンへと三度改造された。

1931・5・5 モーター研究会発足。会長増井幸雄先生。／6 医学部モーター研究会発足。会長藤浪剛一先生。  
1932 慶應義塾自動車協会発足。会長寺尾琢磨先生。／11 部車第1号1928年式幌型ホイベット購入。第1回慶早予科コース競技会。全日本学生モーター連盟結成。  
1933・12・15 慶應義塾自動車部創設。前記3クラブが合併。初代部長林毅陸先生。  
1934・11・5 福澤先生生誕百年記念自動車行進および展覧会。  
1935・5 東京学生自動車連盟結成。／11・10 第1回同連盟競技大会優勝。普通部自動車倶楽部設立。部長中山義一先生。  
1936・11・6 三田自動車倶楽部発会。会長林毅陸先生。／11・17 自動車部部歌作成。  
1938・7～8 皇軍慰問と自動車部隊視察のため中支遠征。隊長小林良策砲兵中佐。  
1939・12・2 学部教練査閲に機械化部隊と

して全車全員参加。当局に再認識を与える。  
1940 春、東京学生自動車連盟会長に陸軍中將、前田侯爵就任。／7 ガソリン切符制、ドライブ困難。  
1941 34年式フォードトラック購入。／6・14 創立10周年記念式典。新部長に寺尾琢磨先生。／9・1 ガソリン配給停止。  
1943・9 各大学の自動車部は機械化国防協会の統制下に入り、部活動はほとんど中止となる。／12 学徒出陣。自動車部員も数名応召。  
1944・2 機械化国防協会主催による学生報国隊走行訓練に参加。／6 部車徴用。勤労動員始まり、部活動停止。  
1945・3・25 部室木造建物は強制疎開を理由に破壊。実働部車皆無。／9 寺尾部長からの名文「三田山上にトラックあり。至急こられたし」の連絡は戦後の再建のきっかけとなった。／9 旧陸軍より払い下げられた日産

トラック修復。塾当局の復興、資材輸送業務に従事。部財政再建に寄与。／11 トラック運転台を部室としていたが、第1校舎地下に部室確保。／12 旧海軍より払い下げられた37年式日産セダンは塾長専用車となり、部員運行に従事。  
1946・5 戦後第1回部員募集。／11 関東学生自動車連盟再建。会長寺田甚吉氏。第1回同連盟フィギュア4位。  
1947・2 29年式フォードフェイトン22号を軽トラックに改装。塾90周年記念祭に大活躍。／4 女子部員初入部。部の略称K.O.J.BをK.O.A.Cに変更。現在にいたる。  
1948・6・27 第1回慶早フィギュア優勝。／7 第1回山中山荘宿、以降恒例となる。  
1949・9 日吉校舎米軍より返還に伴い、三田から日吉へ塾の資材輸送を行う。／12 創立15周年記念行事として代燃車、薪使用による戦後初の長距離ドライブ。東京一大阪間。



1963(昭和38年)・7・10～9・7 創立30周年を記念し、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチンへ故山本部長を団長に団員10名で1カ月半遠征。車は現地で調達し「ブラジル進出日系企業の研究」をテーマに約12000キロを走破。



1959(昭和34年)・8 第7回慶早対抗日本一周レース。試合車、日産680型トラック。当時道路状態が悪く、乗用車で日本一周は不可能だった。翌年より乗用車が試合車として使われたが完走は極めて困難であった。

1961(昭和36年)・10・15 581型トラック、日本一周レース出場前の試合車は女人禁制であったが、ならし運転の際、禁を解く。過去のトラックに比べ性能良好。日本海沿岸道路は狭く、折路では何回ハンドルを切り返しても軒先に轢がかり、困難を極めた。



1950・4 高校自動車部発足。部長木内林太郎先生。／10 体育会塾内対抗競技部新種目団体加入。

1951・4 三田自動車倶楽部再興。会長寺尾琢磨先生。／7 第1回体育実技実施。

1952・1 新種目団体より体育会に昇格。初代部長寺尾琢磨先生。副部長木内林太郎先生。／5 全日本学生自動車連盟結成、東西14大学が加盟。

1953・8 第1回慶早対抗日本一周レース優勝。時間、燃費、事故の有無で得点を競う。／10 31年式フォード2台購入。1台がマスコットカーとなる。／11・17 第4回全日本フィギュア団体全種目1位完全優勝。／12・14 創立20周年記念祝賀会をポールスターにて開催。

1956・10 第1回慶青女子エコノミック・ラン、我が国初の女子によるレース。

1957・6・2 第1回女子フィギュア2位。／

11 第12回全日本フィギュア優勝。

1958・4・19 女子学生自動車連盟結成。

／11・8～9 慶應義塾百年祭自動車パレード、体育会パレードに参加。／11・23 第14回全日本フィギュア優勝。

1960・11・12 第2回全日本女子学生自動車耐久ラリー優勝。

1962・4 三田自動車倶楽部新発足。会長寺尾琢磨先生。副会長村田清氏。

1963・4 副部長馬場甲子男先生就任。／7 創立30周年記念行事として南米遠征。／11 全日本フィギュア男子団体、女子団体ともに優勝。／12 創立30周年記念式典挙行。

1964・6 新潟遠征中、大地震に遭遇。帰京翌日に日本赤十字社に協力。新潟地震救援物資輸送。

1966・11・23 全日本フィギュア女子団体全種目1位完全優勝。

1969・6・1 全関東学生サーキットラリー

第1回女子団体優勝。／6・7 創立35周年記念式典挙行。新部長山本登先生。

1970・6・28 第1回慶早オートクロス男子、女子ともに優勝。

1971・3 昭和45年度小泉体育努力賞受賞1件3名。

1973・3 昭和45年度小泉体育努力賞受賞1件1名。／8 創立40周年記念行事として韓国遠征。／11・18 全日本フィギュア男子団体優勝。／12・15 創立40周年記念式典挙行。新部長富田重夫先生。

1974・8 台湾遠征。／11・23 全日本フィギュア男子三種優勝。

1976・3 昭和45年度小泉体育努力賞受賞1件1名。

1978・9・24 創立45周年記念行事として模範演技会及び講演会を開催。

1979・2・15～3・2 創立45周年記念行事として中国遠征。／3・23 昭和53年度小泉



1989(平成元年)・10 全国学生ダートトライアル選手権大会。女子の試合車、トヨタスターレットEP70V。広原理江(H2)齊藤尚子(H2)出場、3位入賞。



1990(平成2年)・11 全関東学生ラリースプリント選手権大会を制した我が部のマツダファミリア4WD。部員全員精魂込めて整備練習した成果あつての優勝。



1990(平成2年)・3 最近の現役レース風景。筑波サーキットにて。



1991(平成3年) 春の野球慶早戦で本塾優勝のバレードに出場した部のマスコットカー31年型フォード。石川塾長と野球部の小田部長をお乗せし、力石主将が運転。松原主務が助手を勤め、他の部員達に労れながら走行。



1991(平成3年) 春の野球慶早戦で本塾優勝のバレードに出場した部のマスコットカー31年型フォードが走行中エンストを起こし、野球部選手が心配気に見ている。「大丈夫かなー」

体育努力賞受賞2件2名。/11・11 全日本フィギュア男子団体優勝。

1980・3 昭和54年度小泉体育努力賞受賞2件5名。/5・25 全関東フィギュア男子団体、女子団体、三種、完全優勝。/11・23 全日本フィギュア男子団体、女子団体ともに優勝。

1981・3 昭和55年度小泉体育努力賞受賞2件8名。同年度小泉体育努力賞受賞2件2名。/4 三田自動車倶楽部、松山隆茂会長就任。

1982・3 昭和56年度小泉体育努力賞受賞2件8名。/11・14 全日本フィギュア男子団体優勝。

1983・3 昭和57年度小泉体育努力賞受賞1件5名。同年度小泉体育努力賞受賞2件7名。/8・24 創立50周年記念行事として31年式フォードによる東海道走破。/10・15 創立50周年記念式典挙行。/11・20 全日本

フィギュア男子団体、男子三種ともに優勝。/11・21 全日本杯、男子団体、女子団体優勝。

1984・3 昭和58年度小泉体育努力賞受賞3件6名。同年度小泉体育努力賞受賞1件2名。/11・18 全日本フィギュア男子団体優勝。/11・19 全日本総合男子団体優勝。/12・11 寺尾杯、ワリー杯創設。副部長林広孝先生就任。

1985・3 昭和59年度小泉体育努力賞受賞1件5名。同年度小泉体育努力賞受賞1件1名。/8・1 全日本整備大会、女子優勝。/11・24 全日本フィギュア男子団体、女子団体、三種、完全優勝。/11・25 全日本総合杯、男子団体、女子団体ともに優勝。

1986・3 昭和60年度小泉体育努力賞受賞3件8名。同年度小泉体育努力賞受賞1件1名。/5・18 全日本フィギュア女子団体優勝。/11・24 全日本総合杯男子団体優勝。

1987・3 昭和61年度小泉体育努力賞受賞2件4名。同年度小泉体育努力賞受賞2件8名。/3・24 三田新部室落成。/10・30 創立55周年記念式典挙行。/11・20 全日本フィギュア男子団体、女子団体ともに優勝。/11・21 全日本総合杯男子団体、女子団体ともに優勝。

1989・3 昭和63年度小泉体育努力賞受賞3件11名。同年度小泉体育努力賞受賞1件4名。/8・2 全日本ジムカーナ女子優勝。/11・26 全日本フィギュア女子団体優勝。/11・27 全日本総合杯女子優勝。副部長矢沢健太郎先生就任。

1990・3 平成元年度小泉体育努力賞受賞1件4名。/10 新部長浜田文雅先生就任。